

会議録【要点筆記】

会議名称	令和7年度第2回米沢市観光振興委員会		
開催日時	令和7年9月18日（木） 14時00分～15時50分		
開催場所	置賜総合文化センター 3階 301研修室		
出席者	（氏名）		（所属団体等）
	委員長	遠藤 勲	一般社団法人米沢観光コンベンション協会 理事
	委員	入間川 悟	東日本旅客鉄道株式会社 米沢駅長
	委員	小形 喜代之	山形おきたま農業協同組合 米沢・川西地区統括支店長
	委員	黒田 三佳	米沢市国際交流協会 会長
	委員	松田 智博	協同組合米沢市商店街連盟 理事長
	委員	野本 真穂	山形県立米沢鶴城高等学校 教諭
	委員	中嶋 朱実	NPO 法人米沢伝承館 副理事長
	委員	宮坂 匡	公益社団法人米沢青年会議所 まちづくり委員長
	委員	寒河江 大輔	上杉文化エリア懇話会
	委員	宮崎 市朗	公募委員
オブザーバー	宮脇 浩聡	プラットヨネザワ株式会社 代表取締役	
欠席者	（氏名）		（所属団体等）
	副委員長	田中 明子	米沢商工会議所 理事兼事務局長
	委員	遠藤 平右衛門	温泉米沢八湯会
	委員	高橋 弦子	米沢市社会福祉協議会 総務管理課長
	委員	黒澤 光高	米沢ブランド戦略会議委員
	オブザーバー	小田 航平	プラットヨネザワ株式会社 取締役
事務局	青木 一成	米沢観光コンベンション協会 事務局長	
事務局出席者	我妻部長、富取課長、川井課長補佐、佐藤（功）主査、斎藤（義）主査、佐藤（祥）主任		
会議資料	・ 次第 ・ 委員名簿 ・ 第5期米沢市観光振興計画の策定について（資料）		
会議内容			
【1 開会】			
【2 委員長挨拶】			
■委員長			
・ 先月から今月にかけて、大阪、名古屋、北関東、東京の方へ出張した際に、観光関係業者の方と情報交換を行ってきたが、昨年に比べると東北方面への送客があまり進んでいないとのことだった。今年は大阪万博が開催されているため、西日本方面に観光客の目が向いているためと考えられる。			

- ・秋に向けて観光客を増やしていきたいところだが、宿泊料金やバス料金の上昇の影響があり厳しい状況が続いている。道の駅では朝のオープン時に既に車中泊の利用者で満車となっているという話があることから、旅行形態が、高付加価値の高級旅行とお金をかけない旅行に二分されているように感じる。
- ・先日の山形新幹線のトラブルによって、新幹線が山形県や米沢市への来訪者の移動をいかに支えていたかということに改めて気付かされた。福島駅の乗換のひと手間により、観光やビジネスに大きくブレーキをかけてしまうということに気付くことができ良い機会であった。
- ・次期計画策定に向けて本日も様々な意見をいただきたいと思うのでよろしくお願いしたい。

＜議事へ移る前に、事務局より協議事項等について説明する＞

■本会議の定足数について、委員10名が出席しており、総委員数の過半数を超えていることから、本会議は成立する旨説明する。

■会議録の公開等について次のとおり説明し、協議を行う。

- ・本日の会議録については、要点筆記とし、発言者名は記載しないこととする。
- ・会議録は公開することとする。なお、次のいずれかに該当するとき、会議録の全部または一部を非公開とすることができる。
 - (1) 法令等の規定により公開することができないとされているとき。
 - (2) 会議での審議内容が、不開示情報に該当すると認められるとき。
 - (3) 会議を公開することにより、公正かつ円滑な審議が著しく阻害されると認められる場合で、審議会等の決定により、その会議の全部又は一部を公開しないとしたとき。
- ・委員の方の個人情報については、国の機関、地方公共団体、関係団体、市民及び報道機関より、情報提供の依頼があった場合は、名簿に掲載してある範囲に限って提供させていただく。

→ 委員より意見等無いため、上記のとおりの対応とさせていただく。

■本会議の議事録署名人について、人間川委員、宮坂委員へお願いする。

【3 議事】

【協議事項 第5期米沢市観光振興計画の策定について】

■事務局より説明

■委員

- ・本計画案にある「また来たくなるまち」というコンセプトが良いと感じた。一度訪れて残念な思いをしてしまったら、二度目は訪れないと思うので、このようなコンセプトを大事にしてほしい。
- ・先日の山形新幹線のトラブルの件でJRの職員が米沢へ訪れた経緯があり、その中に初めて米沢を訪れた者がいたが、話をしてみると米沢の魅力があまり伝わっていないよ

うに感じた。今後も首都圏へ米沢の魅力を発信していくという役目を果たし、引き続き山形新幹線による首都圏から米沢への送客を促進したいと思う。

■委員

- ・今年はさくらんぼが不作で大きなダメージを受けたため、今後挽回していかななくてはならない。また、現在米の値段が高騰している影響で、お土産としてスーパーマーケットで米を購入していく人がいる状況である。こうした点を誘客に活用できないかと感じたところである。
- ・前回の会議でも申し上げたが、関係人口増加のために、本市の姉妹都市や友好都市と交流を増やしていくことが必要である。話題をつくりながら国内の観光交流人口を増やしてほしい。またインバウンド関係についても、10月に台湾との交流があるので、台湾からの観光客を増やしてほしい。

■委員長

- ・最近、さくらんぼ狩りの観光客の受入が困難になってきたという話を聞いたがどのような状況であるか。

■委員

- ・贈答用の発送品やふるさと納税の返礼品の対応が多く、さくらんぼ狩りの対応まで手が回らない状況である。

■委員

- ・国土交通省の調査によると、山形県は居住者1人あたりの関係人口が全国で最も多いとのことであるため、この点を活かしていければ良いと思う。
- ・海外からの来訪者関係について、モーゼスレイクの交換留学生やスイスとカナダからの来訪者に関わる機会があったが、このような方々は、地元住民と交流することに魅力を感じている。こうしたことから、地元住民が、観光客に対して、「かてもの」や自分たちのまちをつくった人物の話などを語れるようにしておくことが重要である。
- ・海外からの観光客を受け入れる際は、国によってマナーや文化的な常識が異なるため、相手を不快にさせないように、異文化理解のための事前知識を身につけることが重要である。
- ・以前、オーストラリアの高校生が米沢を訪れる計画があったが、米沢を来訪するというよりは東京へ行くことが主な目的であったため、米沢への来訪が実現に至らなかったという経緯がある。この経験から、どのような方に来ていただきたいかということについて明確に情報発信していくことが重要だと感じた。

■委員

- ・旅行形態の多様化の資料が興味深かった。この資料で言えば、米沢は、歴史・文化観光、聖地巡礼、武将観光等当てはまるものが多い。刀剣ブームが長く続いていることもあり、一定のファンが確立し、新たなファンも増えていると考えている。観光客においては歴史好きな方が多いことが分かるため、歴史を活かしたコンテンツをつくりあげていくことが必要だと思われる。博物館における「見せ方」や学術的な部分を考慮しながら各種事業を進めていきたい。

- ・市民の方々が歴史や文化の学習を通じて郷土愛を深めることが重要である。教育普及の観点から、博物館の利用を推進する施策を展開していただければと考えている。

■委員長

- ・米沢の歴史においては、武将といった目を引きやすく集客効果が高いものと、歴史上の人物の精神を学ぶといった知的好奇心を高めるものの2種類がある。こうした歴史に興味がある方のリピーター化を図ることで、将来的に関係人口の増加につながると思われる。
- ・令和12年の上杉謙信公生誕500周年イベントは集客力が大きく多くの方の関心を集める機会となる。この機会を活かし、米沢に目を向けてもらい次につなげていくためにも、市民の方々が、謙信公について学びを深めることにより、郷土愛を育むことが大切である。

■委員

- ・人口減少の影響もあり、観光情勢がコロナ前の状況に戻るのには難しいと感じる。チェーン店が増加する中で、個人経営の店舗や昔からあるラーメン店を守っていくためにはどうしたら良いのかについて考えていく必要がある。
- ・近県からのリピーターを増やすことや、観光客だけではなく市民の方々が知りたい情報を発信する媒体の整備、人材の育成が重要だと感じている。
- ・最近全国で妖怪ブームが起こっており、関連ツアーも組まれ注目度の高いコンテンツとなっている。米沢においてもこうした点を活かせば良いと思う。
- ・先日開催されたオープンファクトリーは評判が良く、伝統工芸に目を向けられる良い機会であった。米沢はイベントが多く、外部へ発信する素材が溢れていると思うので、情報発信について強化して欲しい。

■委員長

- ・置賜地方や米沢を訪れる観光客は、主に宮城県と福島県からの日帰り客が多いのが現状であるため、こうした方々に対して滞在中にいかに関消費を促すかについて考える必要がある。また、観光客の趣味嗜好に合わせた情報提供を行うため、必要な方に欲しい情報が届く媒体を整備することや、建築など特定の分野に興味を持つリピーターを増やすことも重要である。

■委員

- ・先日開催されたオープンファクトリーに、今回は高校生の引率ではなく個人的に参加して各企業を巡ってみたが、一度では見学しきれないほど多くの企業が参加しており、こういった点が次回の来訪へつながり、将来的には関係人口の増加につながると思われた。

■委員長

- ・オープンファクトリーを通じて高校生が市内の企業とつながったことは、将来の担い手不足といった課題解決のためにも大事な経験になると思われる。
- ・教育旅行関係の話となるが、近年、教育旅行の行き先を決める上で、オーバーツーリズムの影響で、観光客で混雑している東京や大阪、京都を避ける動きが見られる。東北地

方はこうした影響が少ないため、今後教育旅行の行き先として選ばれる可能性が高く、本市においてもこの機会を捉え、教育旅行の誘致について次期計画の施策として盛り込んではどうかと考えている。

■委員

- ・先日の商店街連盟の理事会で、市内の商店や飲食店の閉店が多いという話が挙がった。高速道路ができたことで人の流れが変わった影響が大きいと考えられる。また、道の駅米沢ができ、道の駅だけで観光が完結してしまうこともあり、まちなかが潤わなくなったということも影響していると思う。良くも悪くも道の駅の影響は大きいと感じる。
- ・まちナビカードについて、置賜地方全体のものとなり米沢メインのものではなくなったこと、各店舗にカードを持ってくる人が少ないように感じる、導入するにあたり料金が高額であること等の理由から、導入するメリットが少ないように感じる。
- ・市内において泊食分離を行っている旅館があるが、こうした新たな傾向をふまえ、温泉や食、宿泊等の目的別の旅行プランや周遊ルートの造成に取り組むことも一つの案かと思われる。また、こうしたことを推進するため、駅から上杉神社界限までのワンコインタクシーを導入する施策についても提案したい。
- ・米沢へ来訪された観光客と地元民が交流することが、観光客の「また来たい」という思いにつながると思われる。観光関連の事業者の方や市民の方々に米沢の魅力発信を促す施策を展開してほしいと思う。

■委員長

- ・道の駅が各地につくられるということは時代の流れによるものと考えられる。道の駅米沢は置賜地方全体への誘客を目的としてつくられたことに留意すべきであり、道の駅米沢から米沢のまちなかまで足を運んでもらえるような施策を展開していく必要がある。また、これまでは、バスで旅先を訪れツアーのプランが既に決まっているものが主流であったが、現在では個人旅行がメインになっている。世の中は情報で溢れているため、欲しい人に必要な情報を届けられるよう情報発信を行っていく必要がある。

■委員

- ・戦略的なマーケティングとは、ホームページの更新を毎日行うといった地道な作業の繰り返しのことと思われるが、その作業に対して米沢市がどのようにフォローアップできるのかという疑問がある。
- ・現在の米沢ではマイクロツーリズムがメインとなっているため、まずは、近県からの来訪者増加を意識した施策を展開すべきだと思われる。近隣地域からの観光客の人気を獲得しなければ、遠方から観光客を呼ぶことは難しいと思う。

■委員長

- ・戦略的なマーケティングを行うという点で、地道な作業の日々の積み重ねは重要である。「このくらいで終わりで良い」という意識が出てしまうとそこで終わってしまうため、その先を目指した努力や積み重ねが必要であると思われる。市と民間事業者が連携し、一丸となって取り組んでいくべきである。

■委員

- ・シニアの方や障がいを持っている方も含めた「すべての人にやさしいまち」が、「また来たくなるまち」であると考えている。山形県の計画にある「すべての人々を受け入れるアクセシブルツーリズム」という部分を参考にし、こうした施策を本市の次期計画にも盛り込んでほしい。
- ・道の駅米沢では、商品売り場内の通路が狭いため、車椅子では売り場の中まで入ることができない状況である。このような現状では、「すべてのひとにやさしいまち」とは言えないと思う。
- ・情報発信の方法について改善すべき点があると思う。おまつり等のイベントで人が多く集まった際に、次のおまつりやイベント等の情報を発信していくことで、更に誘客の効果を上げられると思う。道の駅の観光案内所等でもこうした取り組みを実施すべきである。
- ・上杉謙信公生誕500年祭について上越市ではすでに準備が始まっているようである。この記念事業について本市ではどのように行っていく予定か。

■事務局

- ・先日、米沢市長と上越市長が会談する機会があり、上杉謙信公生誕500年祭について連携して取り組んでいくという話になった。また、上杉文化エリアにおいて受入体制を充実させることについて今後検討していきたい。

■委員長

- ・リピーターをつくるにはイベントでの情報発信方法を工夫する必要がある。リピーターが多ければ多いほど広告費はかからなくなるため、一度来てくれた方にまた来たいと思ってもらえることが大切である。
- ・これで議事を終了する。

【4 その他】

■事務局

- ・今後の会議のスケジュールについて、当初の予定では、第3回の会議を11月開催としていたが、これを10月中旬頃に開催させていただき、第4回の会議を11月開催とさせていただきたい。

【5 閉会】

この会議録（会議要旨）が正確であることを承認します。

会議録（会議要旨）署名人

委員

入道川 悟

委員

宮坂 匠